

平成29年度 地方創生推進交付金事業 検証シート

事業名	オール霧島魅力創造・発信プロジェクト「新たな挑戦!!」
担当部局課名	商工観光部霧島PR課

1. 事業概要等

事業を企画した目的及び事業の概要	市民等のまちへの愛着度を高め、まちの魅力づくりに参画する人口を増やすために、加速化交付金事業で実施した霧島市を愛する人を増やす「キリシマイスター制度」等をさらに推進する。また官民一体となった魅力づくりや情報発信を行い、持続的な発展につなげる。 そのために、市民の方等がブランディングや情報発信について専門的な知識を学べる機会を作り、まち全体のブランド・PR力を高める。また民間のノウハウを活用した効果的な情報発信とメディアとのネットワーク構築を図る。さらには、地域商社等とタイアップした霧島の食の魅力発信や移住の受け入れ態勢づくり等に取り組んだ。		
交付額	22,437,236 円	交付対象事業費	44,874,472 円
事業始期年月	平成29年10月 1日	事業終期年月	平成30年 3月16日
霧島市ふるさと創生総合戦略との関係性	基本目標 II 訪れたい、住み続けたいまちづくり		
	関連施策 II -① I・J・U 移住天国霧島魅力倍增計画		

2. 本事業における重要業績評価指標（KPI）

指標		達成状況	H28基準値	H29実績値	目標値
KPI①	社会動態の増	未達成	—	△22人	166人
KPI②	移住人口	達成	100人	169人	100人
KPI③	交流（観光）人口の増	未達成	8,118,000人	7,729,661人	8,280,000人

3. 本事業の地方創生への効果

事業効果
地方創生に相当程度効果があった

4. 実績値を踏まえた今後の事業展開の方針

今後の事業展開の方針	対象事業が総合戦略の推進に及ぼした影響及び今後の事業展開方針の理由
事業の継続	クリスマススターの取組や戦略的な情報発信、食のイベント、市民と一緒にになった情報発信等により、本市の魅力を広くPRすることができ、将来的な交流人口・移住人口増加につながることが期待できる。今後も霧島市のファンを増やし、一緒になってまちの魅力を高め、情報発信することで、継続的な発展につなげる。

5. 外部有識者会議による効果検証

効果検証の次期	外部有識者会議による本事業の評価
平成30年7月	総合戦略のKPI達成に有効であったとの意見